

学習指導要領		都立大山高校 学カスタンダード
<p>(4) 諸地域世界の結合と変容</p> <p>アジアの繁栄とヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したこととともに、主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化が進み、社会の変容が促されたことを理解させる。</p> <p>イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界 ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成を扱い、16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。</p> <p>ウ 産業社会と国民国家の形成 産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立など、18世紀後半から19世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。</p>	<p>[ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスが人間性の解放を求め、個性を尊重しようとする文化運動で、イタリアからヨーロッパ各地に広がったことを知る。 ・カトリック教会を批判する宗教改革の運動が、ドイツからヨーロッパ各地に広がったことを知る。 ・17世紀には、主権国家体制が形成され、オランダ・イギリス・フランスなどの国々が有力となったことを知る。 <p>[世界各地への進出と大西洋世界の形成]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15世紀後半以降のアジア・アメリカ・アフリカに対するヨーロッパの対外進出とその影響について知る。 ・17・18世紀に、オランダ・イギリス・フランスなどが世界の諸地域に進出し、重商主義に基づく経済活動と植民地争奪戦争を展開したことを知る。 ・ヨーロッパ、西アフリカ、アメリカを結ぶ三角貿易が発達し、西ヨーロッパを中心とする大陸間分業体制が確立したことを知る。 <p>[17～18世紀のヨーロッパ文化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合理主義、経験主義を背景とした科学革命、主権国家体制を背景とした国際法、貴族社会を背景としたバロックやロココの芸術などについて知る。 <p>[産業革命]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリス産業革命における世界的な背景や繊維部門の技術革新、交通革命、産業資本主義の確立を知るとともに、労働運動や社会主義思想が生まれたことを知る。 	

学習指導要領	都立大山高校 学カスタンダード
<p>(5) 地球の到来</p> <p>科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に、世界は地球規模で一体化し、二度の世界大戦や冷戦を経て相互依存を一層強めたことを理解させる。また、今日の人類が直面する課題を歴史的観点から考察させ、21世紀の世界について展望させる。</p> <p>ア 帝国主義と社会の変容</p> <p>科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展、帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、国際的な移民の増加などを理解させ、19世紀後期から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質について考察させる。</p>	<p>[フランス革命、アメリカ諸国の独立]</p> <ul style="list-style-type: none"> 18世紀における経済的変化や啓蒙思想を背景に、アメリカ独立革命、フランス革命、ラテンアメリカ諸国の独立が相互に関連をもちながら起こり、その結果として西ヨーロッパとアメリカ合衆国に近代民主主義社会の基礎が成立したことを知る。 <p>[19世紀のヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革]</p> <ul style="list-style-type: none"> ウィーン体制下で自由主義・国民主義運動が拡大し、イタリアやドイツでは国民国家の形成が促されたが、ロシアやオーストリアでは、皇帝主導の近代的改革に限界があったことを知る。 アメリカ南北戦争と、その後の奴隷制、人種・民族問題と、ラテンアメリカ諸国の状況を知る。 <p>[科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展]</p> <ul style="list-style-type: none"> 19世紀後期の科学技術の発達が、欧米諸国で第二次産業革命の進展を促し、企業による寡占化と資本の集中・集積が進んだことを知る。 <p>[帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 欧米諸国が工業製品や資本の輸出先を求めて、世界各地に進出し、植民地や勢力圏の獲得競争を展開したことを知る。 欧米諸国の支配を受けたアジア・アフリカで民族意識が覚醒し、マフディー派の抵抗、義和団、インド国民会議派の運動など、ナショナリズムの運動が起こったことを知る。 日本では日清戦争、日露戦争を経て近代産業が成

学習指導要領	都立大山高校 学カスタンダード
<p>イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現 総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現とファシズム、世界恐慌と資本主義の変容、アジア・アフリカの民族運動などを理解させ、20 世紀前半の世界の動向と社会の特質について考察させる。</p>	<p>立し、不平等条約が改正されたことを知る。</p> <p>[国際的な移民の増加]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19 世紀後半、ヨーロッパからアメリカやオセアニアへの大規模な移住が見られたことや、中国や南アジアなどから移民労働者が大量に世界の労働力市場に供給されたことを知る。 <p>[第一次世界大戦]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の勃発に至る経緯を知るとともに、第一次世界大戦が総力戦としての性格をもっていたことを知る。 <p>[ロシア革命とソヴィエト連邦の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシア革命の過程と、それによって成立したソヴィエト連邦が世界に与えた影響について知る。